

平成21年度 秋冬期輸送対策について

平成21年10月16日

1. 基本的な考え方

平成21年度秋冬繁忙期の輸送対策については、昨年秋口以降の景気低迷に一部底打ち感が出てきており、増加が見込まれるお客様の年末需要、季節物資の出荷等に弾力的に対応するため、臨時列車の設定及び曜日運休列車の復活運転などを実施します。特に、出荷がピークを迎える農産品に対応するため北海道発着列車の臨時列車を設定し、輸送力を最大限確保します。さらに、東海道、山陽線の年末輸送対策として、東京～大阪・九州間及び名古屋～九州間の臨時列車を設定します。

また、渋滞等による遅延がなく定時性の高い輸送手段である鉄道の特徴を最大限発揮するために、輸送障害時における迅速かつ正確な情報の提供など危機管理体制の強化により、お客様からの信頼の更なる向上を図ってまいります。

2. 具体的な対策

(1) 臨時列車運転による輸送力増強(別紙参照)

秋冬繁忙期対策として、各線区において臨時コンテナ列車を運転し、需要に応じた輸送力を確保します。

臨時コンテナ列車運転本数 本年10本 (前年比 + 5本)

(2) 新製コンテナの投入

秋冬繁忙期における円滑なコンテナ運用を図るため、年末の需要期を迎える11月末までに3,300個のコンテナを投入します。

(3) 危機管理体制の強化

自然災害等による輸送障害時に備え、昨年度に引き続き、日本海側のフェリーと連携した代行輸送体制を実施します。

(別 紙)

臨時列車運転計画

(1) 季節物資輸送対策

地帯間	発駅	着駅	運転日	輸送力 (個/日)	記 事 (主な物資)
北海道 関東	帯広	熊谷(夕)	9/13-10/13	90	北海道発農産品
	熊谷(夕)	帯広	9/15-10/11	90	一般貨物
	札幌(夕)	東京(夕)	10/20-12/12	100	北海道発農産品
	東京(夕)	札幌(夕)	10/21-11/30	100	一般貨物
北海道 関西	札幌(夕)	梅田	8/20-12/21	80	8,11,12月の月曜運休 北海道発農産品
	梅田	札幌(夕)	8/20-12/20	80	8,11,12月の日曜運休 一般貨物

(夕)は、貨物ターミナル駅の略

輸送力は12ft換算個数

(2) 年末輸送対策

地帯間	発駅	着駅	運転日	輸送力 (個/日)	記 事
関東 北海道	隅田川	札幌(夕)	12/2-26	90	休翌日及び12/15,22運休 特別積合せ貨物、一般貨物
	札幌(夕)	隅田川	12/15-19,22,23,26	90	一般貨物
関東 関西	東京(夕)	梅田	12/17,24	60	一般貨物
	大阪(夕)	東京(夕)	12/18,25	60	一般貨物
関東 九州	東京(夕)	福岡(夕)	12/16,17,23,25	75	一般貨物
	福岡(夕)	東京(夕)	12/17,24	75	一般貨物
東海 九州	名古屋(夕)	熊本	12/15-17,22,24	60	一般貨物
	熊本	名古屋(夕)	12/15-17,22,24	60	一般貨物

(夕)は、貨物ターミナル駅の略

輸送力は12ft換算個数